

多摩市立鶴牧中学校 Tsurumaki English Day camp & World Campus 交流会

8月4～6日の三日間、今年も多摩市立鶴牧中学校

「Tsurumaki English Day camp」、「World Campus 交流会」を実施しました。鶴牧中学校が実施する三日間のイベントに、学校応援プロジェクトとして企画や運営として参加させていただいています。今年は鶴牧中学校の校舎改修工事の為、4、5日はお隣の南鶴牧小学校の教室をお借りし、6日は鶴牧中学校体育館での開催でした。



学校応援プロジェクトグローバルチームでは準備の段階から当日まで、中学校の校長先生や World Campus の運営の方と連絡を取りながら関わらせていただきました。

[Tsurumaki English Day camp 8/4、8/5]



Tsurumaki English Day camp では、アクティビティを通して中学生にたくさん英語にふれてもらい楽しんでもらうことを目的としました。開会セレモニーで「Did you get it?」「Yes, I got it!」の合言葉の確認を行い、アクティビティ内でこの合言葉をたくさん使いました。一日目は、バースデーライン、異文化理解クイズ、ジェスチャーゲームを行いました。バースデーラインは、英語で自分の誕生日を伝え合い4月から誕生日順に並ぶゲームです。

スタートすると、とても積極的であちらこちらから「When is your birthday?」の声が聞こえ、中学生の皆さんは自分の誕生日を英語で正確に伝え、見事完璧なバースデーラインを作ることができました。

異文化理解クイズは、World Campus の方々のお国にちなんだ文化や習慣に関するクイズです。難問揃いでしたが、班ごとに一丸となって一生懸命クイズに答えてくれました。

ジェスチャーゲームでは、班毎に行い一人がお題を身体で表現し、班メンバーに英語で何のお題かを当ててもらいました。正答した数を競う班対抗です。ジェスチャーが難しくパスするケースもありましたが、楽しく盛り上がりとてもいい勝負になりました。

二日目は緊張もほぐれ、多くの中学生の皆さんがやわらかい表情で教室に入ってきてくれました。この日は開会セレモニー、ビンゴゲーム、English Word Chain、Who am I?の三つの活動を行いました。

ビンゴゲームでは、個人でテーマに沿った英単語を考え自分だけのビンゴカードを完成させた後、班毎にビンゴゲームを行いました。中学生たちはしっかり英語で受け答えができており、ゲームの最後には、班毎に一番多くのビンゴをした人に賞状の授与も行いました。

English Word Chain では、黒板を使って英単語でしりとりをしました。単語が思いついてもつづりが分からない時は、大学生がサポートします。一生懸命英単語を考



えて書く姿が印象的でした。たくさん書いた班が優勝です。短い単語を思いつくのがコツのようでした。各班1位を目指して楽しそうに取り組めていました。

Who am I? では、各班で職業、キャラクターなどのトピックに沿った選択肢の中から一つお題を選び、そのお題について、特徴などを英語で発表し、他の班にお題を当ててもらいました。班毎に考えた三つの特徴は思考を凝らしたもののばかりで、他の班の生徒も楽しそうに答えを考えていました。

一日目と二日目は最後に、三日目の World Campus 交流会に向けての発表の準備を行いました。発表テーマは日本の「お祭り文化」で、阿波踊り、東京音頭、七夕踊りの三つの踊りについて、3班に分かれてそれぞれその踊りの特徴や実際の踊りの発表の準備をしました。大学生のサポートのもと自分たちで踊りについて調べ、画用紙に文字や絵、色を加えながら英語でわかりやすくまとめていました。踊りは事前に練習をしてきた大学生が指導し、各チーム熱心に練習し三日目に備えました。最初は戸惑った様子の中学生もいましたが、次第に大学生とも打ち解け、楽しそうでした。

[World Campus 交流会 8/6]

World Campus 交流会では、鶴牧中学校に来校した World Campus メンバー5名の方々と英語を使って交流をしました。中学生にとっても大学生にとっても World Campus メンバーの方々と実際に英語で交流できた貴重な機会でした。

開会セレモニーと自己紹介を終え、最初の活動は Free Talk です。4班に分かれて、「無人島に何か三つものを持っていけるとしたら何を持っていく?」というお題について班内で、英語でディスカッションをした後、画用紙に絵や字でまとめ、最後に全体で発表をしました。この日最初の活動で World Campus の方とどうコミュニケーションをとったらよいのか模索しながらの活動になりましたが、後半にはすっかり打ち解けた様子で、各班で個性的で楽しいディスカッション、そして発表ができました。World Campus の方が積極的に中学生に話しかけており、中学生も懸命にリアクションし会話をしていました。

次のアクティビティは English Quest です。この活動では3班に分かれ、リレー方式でお玉に乗せたピンポン玉を運びながら、途中にある英語のクイズや、英語での早口言葉、英語じゃんけんに挑戦しました。特に英語早口言葉は World Campus メンバー、中学生ともに苦戦する人が多かったようでしたが、チームメンバーの温かい見守りの中、見事全チームクリアできました! 1位のチームには賞状の授与も行いました。



次の活動は発表です。東京音頭、阿波踊り、七夕踊りの順に各チーム発表をしました。中学生の皆さんは自分たちの分かる英語表現で一生懸命その文化について説明をし、前日までに準備しました。発表の最後には「東京音頭」などの曲を流し、大学生を含めたチームメンバー全員で踊りを紹介しました。World Campus の方々も座りながらでしたが真似して踊っている様子が見られ、日本のお祭りの雰囲気を伝えられたのではないかと思います。

この日の最後には World Campus の方々が紹介してくれた
“ヒーハーフー”と呼ばれるゲームを参加者全員で行いました。
大きな円を作り、ゲームを始める人が「ヒー」と言いながら円の
中の一人を指します。当てられた人はすぐに「ハー」、続いて両
隣の人が「フー」とジェスチャーをしながら大きな声で応じま
す。油断できず中学生はドキドキしながらも楽しくゲームを行
いました。



三日間の活動を通して、中学生が英語活動にとっても楽しそうに取り組んでいる様子が見られ、私たち大学生も非常に高い達成感を得ることができました。改めて英語活動の楽しさと同時に英語で伝えるという難しさを実感することもできました。三日目の World Campus メンバーの方々との交流も生の英語に触れた貴重な機会となりました。

このプロジェクトを通して、少しでも中学生に英語の楽しさを伝えられていたらうれしいです。大学生側でも初めて活動に参加するメンバーが多くいましたが、準備の段階から一人ひとりが積極的に活動に参加しており、非常に充実した、何より楽しい活動となりました。今後も学校応援プロジェクトの活動を通して、今回の活動での良かった点、改善点を踏まえ、より充実した活動ができるように取り組みたいと思います。

中学生の皆さん、World Campus の皆さん、準備進行に携わってくださった皆さん、ありがとうございました！

